

竜の子新聞

第11号

市政報告
発行 **あらし竜二**
倉敷市川入 641-5
TEL & FAX : 086-434-8185
http://www.ryu2.biz/
e-mail: info@ryu2.biz

facebook

恒例の9月シンス議会

(平成29年9月5日～22日)

今年、倉敷市は昭和42年に旧倉敷、児島、玉島の3つの市が合併して倉敷市となった節目の50年を迎えました。この1年間はイベントなどで倉敷の町も活気があるように感じます。また水島港臨港道路「倉敷みなど大橋」や「倉敷駅前東土地区画整理事業」の完成もありました。どちらも10年以上かかった大掛かりな事業だっただけに完成の喜びもひとしおでした。少しずつ国際都市倉敷にふさわしい街並みになっていくように感じます。それだけに連続立体交差事業(鉄道高架化)の進行が気になります。私は倉敷駅北側の商業施設や南側の観光地が一体となるのが、私たちの生活を活性化することに繋がると考えています。そのためいろいろな方々から話をうかがいながら、連続立体交差事業

の早期実現に向けて努力していく所存です。さて、今回の補正予算は早急な対応が必要となっている経費、国の制度改正や補助内示に従う経費、決済剰余金を活用した経費などを中心に一般会計では46億400万円の増額がありました。また、医療機器購入費を中心とした平成29年度市立児島市民病院の補正予算などを可決したことを報告致します。

《主な予算》

生活困窮者自立支援事業

年々件数が増加する相談支援に対応すると共に、就労継続支援A型事業所の閉鎖により離職した方に対して迅速に就労等の相談支援を行うため、「倉敷市生活自立支援センター」の相談支援員を1名増員(5名↓6名)します。事業費 333万円 (事業運営委託料)

市長公約 体育施設管理運営費

中山公園野球場及び真備総合公園軟式野球場に防球ネットを増設します。事業費 3100万円

市長公約 グラウンドゴルフ場整備事業

グラウンドゴルフ場整備予定地の給水工事を行うとともに、隣接道路の拡幅や樋門の改修を行います。事業費 4912万円 (工事費)

住民基本台帳システム保守管理事業

平成30年度から住民票等に旧姓の併記を希望する方に対応できるようにシステムを改修します。事業費 2649万円 (システム改修委託料)

施設型・地域型保育給付事業

民間・公立保育所運営費

保育士等の処遇改善のために、国が基準を改定したことに伴い、運営委託料等を増額します。事業費 6億5365万円 (運営委託料・施設型給付費)

市長公約 西阿知小学校校舎建設事業

児童数の増加が当初の見込みを上回る事に伴い、増築校舎の予定教室数を見直すとともに、幼稚園園舎と合築して建設します。(平成32年度完成予定)

市長公約 芸文館ESCO事業

・小学校校舎増築 (14教室↓22教室予定)
・幼稚園園舎建設
事業費 3500万円 (設計委託料)
芸文館にESCO※を導入します。(平成30年度8月～平成45年7月の15年間)
※省エネ改修事業によるコスト削減分を、設計、工事、維持管理の費用に充てる事業
債務負担行為 11億491万円 (事業運営委託料)

日本遺産推進事業

平成29年4月に認定された日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地・船主集落「」への追加認定を目指し、北前船日本遺産推進協議会へ加入します。事業費 50万円 (負担金)

災害大国

日本は「災害大国」になったと感じています。

少し前までは自然の脅威に、こんなにも翻弄される日常は無かったと思っ

ています。地震、台風、大雨と打ち続く自然の力に私たちはどのように向き合ったのか。立ち上がったのか。

考えていきたいと思えます。

広島豪雨災害に思う

平成26年（2014年）8月20日の深夜に広島市を襲った豪雨は、土砂災害を引き起こし75名の方が亡くなられた。若い夫婦や妊婦の胎内にいた胎児も犠牲になったという。

これは平成になってから最大の被害といわれています。

テレビからの画面は土砂が容赦なく、家々を押し流した様子が映し出され、その衝撃に言葉が出なかつたことを覚えています。

あれから3年。100年に一度の豪雨にさらされた町はどこまで復興できたのか。

確かめたい。8月、広島市に行きました。



慰霊碑に手を合わせ犠牲者を悼む

8月の中旬。広島市に向かう。特に被害が大きかった八木地区と緑井地区に行きました。

あの日、午前1時から3時間、同じ場所で積乱雲が次々と発生する「バックビルディング現象」が起こり、観測史上最大の猛烈な雨が降り、その結果、土石流やがけ崩れなどの土砂災害が発生したのだ。

八木地区

54人が亡くなるなど、最大の被害を出した八木地区に向かう。国道54号線の通り沿いにある。驚愕した。

山々にはまだ茶色い筋のような、土砂崩れの跡が生々しく何本も残っていたのだ。

ここは交通の便が良い人気の地域で、山裾を切り開く形で開発されたという。山に向かって横道に入る。住宅街。途端に道幅が狭くなり、車1台やっと通る。

頂上近く、「県営緑丘住宅」に到着。ここは映像で最も流された所。「緑丘住宅5号棟」を土石流が襲い、住民を建物ごと流したのだ。

まずは「慰霊碑」に手を合わせました。

この慰霊碑は翌年に地元自治体が建てたという。壁のモザイク画は高校生たちが災害前の街並みを表したという。碑には犠牲者の名前が刻み込まれています。

周りを見渡すとまず目に入るのが砂防ダム。
山と町を遮断するように大きくそびえたっています。
八木地区だけでも30基の砂防ダムが完成していて、土砂を食い止める。

◀ 慰霊碑近くの砂防ダム



慰霊碑のすぐ横は空き地。今だ、大木が倒れたままになっていて、誰が置いたのか鯉のぼりがもの悲しい。そして慰霊碑の隣では、新たな5号棟がすでに建て直されていて驚く。誰も住んでいないようでしたが言葉が出ない。もう一度、慰霊碑に手を合わす。

緑井地区

つづいて、14人が亡くなった緑井地区に向かう。

◀ 放置された大木と鯉のぼり



この地区も山裾に広がっている住宅地区です。土石流が大きく土を削り、水道の配管を破壊し、雨の被害を増幅させた。現在では配管は埋めなおされ、砂防ダムがそびえ立つ。

また、緑井地区ではワイヤーセンサーで土石流を感知するというシステムがある。警報が鳴り、住民に知らせる。町には不思議なほど人影がなかった。ここは一軒家が多く、住民同士の繋がりが強かったと聞く。災害によって分断された町を思う。

広島災害慰霊碑

山裾にある梅林小学校に行きました。ここには「広島災害慰霊碑」が建立

されています。普段は閉めている門もお盆の間は開けているという

◀ 梅林小学校にある慰霊碑



広島豪雨災害は決して他人事ではない。背景には激しい雨が降るようになったことがある。「線状降水帯」と呼ばれるような雨雲が局地的に発生する。

私たちはどのように身を守ったらいいのか。私は二つのポイントがあると思います。

まずは土砂災害の危険個所を把握すること。そのために倉敷市は警戒区域の指定をきちんとする。

次に「避難勧告」の出し方。早めに出すことによって準備が出来、対応しやすい。市と地域が一体となって防災対策を

進めることで、住民の防災意識が高まり、被害を未然に防ぐ事が出来ると考えます。

東日本大震災

東日本大震災の発生から、6年と7か月が経過しました。

東北の被災地域では、商業施設のオープンや避難指示の解除など、明るい話題が相次いでいると聞きます。

ですが、未だに多くの方々が避難生活を送っていることを忘れてはなりません。

復興庁の調査によると、平成29年3月中旬時点で、東北全体で11万9千人もの方々が避難を余儀なくされています。

皆さんは倉敷市では現在でも被災地で最も必要とされている技術職員を被災地に派遣していることをご存知でしょうか。

派遣を縮小する県や市が多い中、今年も2名の方が被災地に行かれました。

岩手県釜石市と大槌町です。現地では補償業務や下水道事業の普及を行うとの事です。

大変な仕事です。この場をかりて感謝を申し上げます。

東北は復興に向けてゆっくと歩いているのだと感じます。

その歩みを見守り、応援していきたいと思います。

平成29年6月 倉敷市議会 個人質問



くらしき創生クラブ

荒木 竜二

48万都市の格にふさわしい

顔づくしをいじ



近年ではG7倉敷教育大臣会合が行われ、外国人観光客の増加に伴うインバウンド対応強化を図っている事や日本遺産の認定を受けたことなど、倉敷市の注目度は大変高くなっている。

この絶好の機会を捉え、高梁川流域の連携中枢都市として、賑わい豊かな48万都市の格にふさわしい顔づくりを進めていく必要があると考え、市の考えは？



高梁川流域連携中枢都市圏の機能を果たしていくために、圏域全体の中心市としての役割、県の鉄道高架事業も踏まえて駅周辺が活性化して、連携中枢都市の機能を果たしていけるまちづくりを進めていくこ

とが必要であると考えている

地域猫活動に取り組み

費用の助成をしようか



自治会やボランティアなどが、野良猫が繁殖しないよう不妊去勢手術や、餌やり・ふんの処理を行うなどの共同管理をする地域猫活動に、行政も積極的に取り組み、手術費用を助成すべきと考えるが、市の見解は？



苦情件数や引取頭数の減少に効果がある地域猫活動を周知していく。また、市の現状にあった方法で不妊去勢手術の助けとなる制度の構築を検討する

入札及び契約の適正化について



契約課発注の建設工事について、最低制限価格制度又は低入札価格調査制度を導入し、品質確保を図っているが、それ以外の各担当部局が発注する修繕契約で最低制限価格が設けられていない契約では、本当にこのような考えは必要なのか？



品質確保やダンピング防止などにより適正な発注を行うために、市役所全体で統一したルールを設け

る必要があると考える。今後、修繕の契約方法の見直しについて、具体的に検討していく

民泊事業について



民泊法案が来春には施工される見通しとなった。本市の宿泊施設の稼働率の状況分析も必要であるが一方で、本市には、素晴らしい古民家や町家などの地域資源が多く保存されている。高梁川流域圏域において、圏域内の周遊観光を実現するためには、民泊の推進が有効ではないかと考えている。今後、民泊にどのように取り組んでいくのか？



外国人旅行者を含めた観光客の多様化したニーズに対応するため古民家、町家等といった倉敷らしさを取り入れ、国内外からの旅行者が倉敷市や高梁川流域圏域へ宿泊していただけるよう、民泊を含めた滞在型観光客の増加に向けて取り組む

URL:<http://kurashiki.media-streaming.jp/recording/meeting/detail/486>



議会での質疑応答動画はこちらから

『編集後記』

広島の前被災地には今年、行こうと以前から決めていました。県と広島市が合同で行う「広島豪雨災害犠牲者追悼式」が今年で最後と聞いたからです。

一区切りついた印象があり、どう復興したのか見てみたいと思いました。実際に現場に立つて思った事は東北で感じたような圧迫感でした。

多数の砂防ダムが建設されていますが、そのすぐ下に家々があります。砂防ダムだけで身を守る恐怖はいかばかりか。

激しい雨が降りませんようにと願いました。やりきれなさを感じます。印象深いのは広島のお土です。工事現場の土が茶色なのが気になりました。これは広島特有の「まさ土」と呼ばれる土。

さわれば手で簡単に割れ、粉々になった。地質では荒い砂に分類される。この土が大量の雨を含み、一気に崩れ落ち、土石流を起こしたのだ。

私たちは土砂災害にどう備えればいいのか。謙虚に自然の猛威と向き合うことが大切です。そしてまずは身を守ることを。

この災害の教訓を生かす取り組みを急がなくてはならない。そして、その教訓を大切に次の世代に伝えていかなければと考えます。

あらき竜二